

次期 NHK 会長選考にあたり、榑井現会長の再任に
絶対反対し、推薦・公募制の採用を求める賛同署名

第3次集約署名に添えられたメッセージより

1740

「榑井会長の罷免・辞任まで受信料の支払いを凍結しています。郵送、訪問、電話などで支払いを求めてきます。電話や訪問にはなぜ凍結しているのか説明しますが、それへの応答は一切ありません。視聴者の声をまったく聴こうとしない対応に不信は募るばかりです。次期会長の選考に際し、貴委員会が榑井現会長を絶対に再任せず、公共放送のトップにふさわしい人物を選考すること、また会長の推薦・公募制を採用するよう強く求めます。気持ちよく受信料を支払わせてください。」(10月12日、東京都)

2079

「NHK ニュースは全く視なくなりました。まともな報道がないからです。7月の参院選は、憲法改正が重要な焦点であったにもかかわらず、きちんとした報道もなく、改憲勢力が2/3衆参両院で占める状況になりました。TPPは国民生活を破壊するものであるのに、それに対してどれほどきちんとした報道がありますか？NHKに受信料を払っているのは、公共放送としての役割があるゆえです。市民が不利益を被る、国家の行く末を決める、社会の土台をゆるがすといった問題については、公正に、十分な調査をし、市民にわかりやすい語り口で報道してこそ、公共放送です。安倍政権に肩入れする偏向報道をするならば、受信料は払いたくありません。」(10月29日、福岡県)

2325

「不偏不党であるべき放送事業者は、時の政権や経営責任者におもねることなく市井の視点から番組などを作っていくのが使命だと思います。もとよりマスコミの第一の仕事は『権力』の監視があげられますが、現状ではとてもその雰囲気はありません。政権の声に怯え、経営側の恫喝や圧力に怯えていては良質な番組などできようもありません。単に『権力者』たちの広報機関に貶められていることを恥ずべきだと考えます。過度の萎縮や自制といった風潮はとても公営放送の色を感じられません。」(10月12日、愛知県)

2365

「公共性の高いメディアが政府や国会から独立性を保ち、政治家が作る法律などについては是々非々で評価するのは、独裁体制を防ぐための必須条件です。この重要性は、イギリスのBBCやドイツのARDやZDFなどの公共放送が、自国やEUの政治家に対してときに手厳しい批判や質問を浴びせることで、すでにメディアが弾圧!委縮させられているロシアやハンガリーなどの独裁主義的な政治を必死に阻止しようとしている姿勢からはっきりと確認できます。総理大臣にNHK会長の任命権があるゆえに、政府がNHKのトップに影響を及ぼすことができる現行のシステムは、報道の自由と公平性を担保する独立性を危うくさせるだけでなく、独裁的な政治を助長する温床になっています。この弊害をなくすために

も、会長職の選考・決定システムを抜本的に変えるべきです。」(10月29日、ドイツ／ベルリン、慶応大学教授)

〔編集者注〕NHK会長の任命権はNHK経営委員会にあります。その経営委員は、衆参両院の同意を経て内閣総理大臣が任命する仕組みになっています。

2776

「NHKの報道は、特に3.11以降、全く信じられなくなり、テレビも破棄しました。そのため、もちろん受信料も払っていません。現在の政府べったりのNHKの体質を刷新する会長人事を求めます。」(10月29日、熊本県)

2971

「近現代史への造詣が深く、権力を批判的に見つめる目を備え、相手の立場に立って考え、判断できる方の就任を望みます。また、公共放送として受信者(≡視聴者)から直接、受信料を徴収して成り立つ以上、NHKのあり方について、受信者に一定の発言権を持たせるべきではないかと考えます。」(10月30日、東京都、民放キー局報道局勤務)

3069

「『情報を持たない民衆は滅びる』とは、アメリカの調査報道のパイオニア、チャールズ・ルイス氏の言葉です。もちろん、この情報とは、正しい情報のことです。振り返ってみれば、私たちは、ずっと正しい情報を伝えられてこなかったのではないか、いつも政府のフィルターを通しての情報しか得られていなかったのではないか。それにメディアは奉仕してきたのではないか。不信が募ってゆくばかりです。この署名は、『滅び』ないための、一人の市民にできる必死の努力なのです。」(10月30日、兵庫県西宮市)

3365

「この70年、物心が分かってからNHKを信頼して放映を楽しみにしていました。しかし、榑井現会長になってからは、情報などが信用できなくなり、テレビを整理して観ていません。受信料を求めながら、情報を操作する放送局は信頼できません。国民に対して正しい情報をきちんと提供しない放送局は、判断を間違わせます。情報操作は視聴者をバカにしていることで、現政府の言いなりの報道は放送局の倫理からも外れます。危険な国の独走を作る要因にもなりますので、現政府が会長を決めるのではなく、公募をお願いします。このような仕組み作りは、視聴者が視聴料を支払う、基本的なことです。それが分かっていない、榑井現会長の再任を反対します。(70代の女性)」(10月30日、札幌市)

3373

「NHKには公共放送だからこそできる、政権からも財界からも独立した放送を目指し続けていただきたい。会長には、少なくともそういう姿勢で番組作りに臨むスタッフが安心して働けるような体制を整える、という視点を持っていただきたい。外から見ても、今の状況では心ある人はNHKから去るか黙るか潰されるしかないのではないかと危惧しています。」

(10月30日、東京都)

3984

「1) 各種番組には素晴らしい内容のものが多々あり、民放より見る回数が圧倒的に多いです。2) ニュース、政治番組（特にキャスター・コメンテーター人選に問題）に榎井会長の意図が丸見えです。報道するタイミング、報道しない、お座なりな扱いなどから。NHKのラジオ時代から視聴して来ましたが、これほど露骨に権力におもね、ガバナンスの欠如したNHKに失望を禁じえません。3) 聴視料を止める気は一切ありません。」

（10月31日、大阪府、日本音楽家ユニオン）

4105

「公共放送は、市民のためのもの。時の政府から独立し、ジャーナリスト精神に富んだ取材報道や、一つのテーマの一つの立場をじっくり展開する論説、実のある討論番組などを期待します。政府の見解をじっくり展開する番組も良いと思います。それを賛意や批判にさらし、次の機会にまた別の見解を展開してはどうでしょうか。時の政権の思惑に沿った司会やまとめは言語道断ですが、時間が限られた一つの番組の中の単なる両論併記も意味がないとおもいます。ドキュメンタリーやEテレの番組など、知的好奇心を刺激される番組も残っていると思っています。政府広報に変質した感のある総合放送ですが、榎井会長退任を機に、もういちど正道に戻ってくださることを期待しています。」（10月31日、名古屋市）

4682

「偏向報道にうんざりしています。事実関係を淡々と伝えてほしいと思います。ささやかな、私なりの抗議として受信料契約を拒否し続けてきましたが勧誘員玄関ドアを激しく叩くという脅しについて屈し、今年になって契約してしまいました。大男が大声で呼びながらドアをたたくので恐怖を覚えました。」

所謂お笑い芸人が相方をひっぱたくような番組制作にも受信料が使われているのだと思うと怒りを覚えます。情けないことに、もっぱら衛星放送で映画を視聴して、元を取ったと思ひ込もうと努力しております。『安倍放送局』は早急にやめていただきたいです。」

（11月1日／岐阜県）

4886

「政府が隠し続ける事実を隠す手伝いをするのが、公共放送の役割ではないはず。国民の不利益を報じないのは報道機関としての役割放棄です。報道機関自らの報道規制は、先の戦前と変わらぬ事態です。国民に誤った歴史認識を植え付けたりしないで！」

国民の目となり耳となり、事実を報道する勇気を持ち続けてください。権力に迎合するのは、容易いことですが、国民の立場に立つことは生半可ではできないこと。

しかし、どんな困難な時代でも人間的であり続ける勇気を持ってください。報道の果たすべき役割はとてつもなく大きく、時代を変える力を持っています。それだけに、責任も重大です。報道機関としての誇りをどうかかなぐり捨てないでください。

権力に自分を売り飛ばすな！人間であり続けて！」（11月3日／埼玉県）